

平成 30 年度 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 30 年 12 月 12 日(水) 14:35 ~

場所：理学部 E209 講義室

講師：濱田 達朗 先生
(石川県立大学 生物資源工学研究所)

演題：食虫植物の生化学・分子生物学

要旨：食虫植物は痩せた土地に生育し、葉が特殊な形状をした捕虫器で昆虫などの小動物を捕らえ、分解、吸収することにより成長に必要な養分を獲得している。植物が動物を食べるというユニークな現象から人々の関心は高く、1800 年代には Charles Darwin が食虫植物に関する著作を残している。近年、さまざまな食虫植物において、捕虫器のトランスクリプトーム解析や捕虫器内分泌液のプロテオーム解析がおこなわれ、獲物の分解に関わる酵素類が明らかになった。同定された酵素類の多くは植物における病害応答タンパク質 (PR プロテイン) であったことから、食虫植物の捕虫機構は植物が普遍的にもつ病害応答機構から転用されたことが示唆された。

数理分子生命理学セミナー世話人 島田 裕士 (内線 7450)

本セミナーは(5 研究科)共同セミナーとして認定可能です。

本セミナーは HiPSI との共催です。